

平成25年度 事務事業評価調書（平成24年度実績分）

事務事業名		排水機新設改良事業			
所管部局	都市建設部	部局長名	海治 甲太郎	予算事業名	○排水機新設改良事業費
所管部署	河川水路課	所属長名	久保 一夫	予算事業科目(平成25年度)	010803030179

1 事業の位置付け

2011 高知市 総合計画・実施計画 施策体系での位置付け		施策取組方針 豪雨や地震などの自然災害に備えて、浸水対策や山がけ崩れ対策を進めるなど、被害の予防に努めるとともに、臨時ヘリポートや耐震性貯水槽などを備えた防災公園の整備を進めます。 また、被災後の速やかな復旧を可能とする体制整備を進めます。
施策の大綱	05 まちの環	
政策	28 安全安心の都市空間整備	
施策	83 災害に強い都市基盤の整備	

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令	地方自治法	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画、覚書等)	2011高知市総合計画 第1次実施計画(平成23～25年度)、公共下水道及び都市下水路事業計画	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	高知市民(市街化区域内)	
意図	どのような状態にしていくのか	豪雨時における内水排除に万全の体制を整え、浸水解消を目指す。	
手段	事業実施体制等	請負工事	事業開始年度 平成11年度
			事業終了年度 -
活動内容	どのような事業活動を行うのか	42排水機場の施設機能が十分発揮できるよう定期的に点検を行い維持修繕を実施する。また、耐用年数を経過している施設については設備改修及び更新等を計画的に実施し、排水能力の維持を図る。42排水機場の施設機能が十分発揮できるよう定期的に点検を行い維持修繕を実施する。また、耐用年数を経過している施設については設備改修及び更新等を計画的に実施し、排水能力の維持を図る。	
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方
	A	予算額(最終)に対する決算額	執行額で予算の進捗を測る。
	B		
	C		

4 事業の実績等

			22年度	23年度	24年度	25年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	予算額(最終)に対する決算額	目標 100%	100%	100%	100%		
			実績 100%	100%	100%			
	B	目標						
		実績						
C	目標							
	実績							
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	62,861	39,000	25,900	26,000		
		財源内訳	国費 (千円)	9,651				
			県費 (千円)					
			市債 (千円)	5,000	39,000	25,900		26,000
			その他 (千円)	48,210				
			一般財源 (千円)	0	0	0		0
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	7,200	4,320	2,960	2,960		
		正規職員 (千円)	7,200	4,320	2,960	2,960		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)	1.00	0.60	0.40	0.40		
		正規職員 (人)	1.00	0.60	0.40	0.40		
		その他 (人)						
総コスト= ① + ② (千円)		70,061	43,320	28,860	28,960			
市民1人当たりコスト (円)		207	128	85		総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数 (人)		339,130	337,875	338,397				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

--

6 所属長評価

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	5.0	本事業は、「安全・安心の都市空間整備」のため、災害に強い都市基盤の整備を目的としており、市総合計画（第1次実施計画）の趣旨に合致している。 また、都市化の進行に伴い土地利用が高度化されたこと、近年の気象変動による局地的なゲリラ豪雨等により、各地で浸水が頻繁に発生していることから、市民の浸水不安解消に向け、今後も、事業推進が求められている。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	A		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	A	5.0	成果は十分に達成できた。 事業成果向上のため、他課とも調整を行い効率的に事業推進を図っている。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	A		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	5.0	技術者育成の面からも、可能な限り市職員での実施を検討していく。 公共下水道事業との整合性を図りながら、効率的な整備を検討していく。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	本事業は、浸水地区を対象に行っているものであり、これまでに、各浸水地区の河川及び排水機場を、改修整備している。 本事業は、起債（自然災害）にて実施しており、受益者負担の視点には馴染まない。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	20.0	総合評価	<input checked="" type="radio"/> A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) <input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
<input checked="" type="radio"/> A 事業継続	1次評価のとおり
<input type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続	
<input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討	
<input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--